

(様式1)

平成30年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 049	提案機関名 農業技術センター足柄地区事務所
要望問題名 薬膳料理用農産物の現地適応性検定と栽培法の確立	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 現在、県西地域において未病対策の取り組みの中で、薬膳料理用農産物の普及を図っており、これまでにトウガン、ニンニク、ヤブカンゾウおよびツクネイモを選定し、展示ほを設け普及を図っている。もう数品目を選定したいと考えており、当地での適応性、商品性などに優れた薬膳料理用農産物を選定いただきたい。 また、選定品目の中にはこれまで栽培実績の少ない品目があり（ヤブカンゾウなど）、普及を進める上で情報が不十分であるため、その生理生態の解明および栽培法の確立を、新たに選定した品目を含めお願いしたい。	
解決希望年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター <input type="checkbox"/> ②畜産技術センター <input type="checkbox"/> ③水産技術センター <input type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産技術部野菜作物研究課
対応区分	<input type="checkbox"/> ①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合) 野菜類の高品質・安定生産技術の開発 薬膳料理に使用できる農作物の栽培法の開発			
対応の内容等 県西地域における未病対策のなかで薬膳料理用農産物の普及はとても重要であると考えております。当所では、平成28年度からヤブカンゾウ、ニンニク、葉ニンニク、ツクネ芋、丹波黒豆（エダマメ）、ミニニンジン、葉ゴボウ、短根ゴボウ、ミズナ、カラシナの計10品目について、栽培試験を行っております。この中から有望な品目を選定するとともに、新たな作目についても検索を続けてまいります。また、栽培実績の少ない作目については、生理生態的な特性について調査し、地域に合った栽培法の確立に取り組んでまいります。			
解決予定年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内		
備考			